
空にかかる月と運命

クロノス・レオンハート

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空にかかる月と運命

【Nコード】

N5064I

【作者名】

クロノス・レオンハート

【あらすじ】

これは七夜の生き残りの少年の物語・・・

第一話（前書き）

初心者の書く小説ですが読んでいって下さい

第一話

闇夜の中、少年は走っていた・・・

？「ハア・・・ハア・・・ハア・・・ハア・・・ハア・・・」

少年は何者かに追われている

気がつけば少年は公園にたどり着いた

？「！！」

「鬼ごっこのは終わりだ」

少年の前には黒服の男、手には拳銃が握られている

？「どうして・・・僕を・・・？」

「そうだな、お前がああ「七夜」の生き残りの一人だからだ」

男はそう答える

？「ナナヤ・・・？」

「とぼけても無駄だ・・・死ねや」

男は銃の引きがねを引く

バンという音と共に銃から弾丸が放たれ少年の肩を貫いた

？「うあっ！！うっ・・・ぐっ・・・」

「外したか・・・銃は苦手だからな、仕方ない」

男の腕が一回り大きくなり爪が伸びる

男が少年に近づいてくる

？（僕は死ぬのかな・・・？訳も分からぬまま・・・自分が誰かもわかってもないのに・・・殺されるのか？）

ドクン・・・ドクン・・・ドクン・・・ドクン・・・ドクン

らか」

式は公園に入った

そこには血溜まりの中に立つ少年がいた

手には二本の小太刀

ドサッ

少年は血溜まりに倒れた、式は少年に近づく

式は「直死の魔眼」を使って少年を視る

少年は生きているようだ

おそらく気絶しているのだろう

式は少年の小太刀を見て驚く

小太刀の柄に「七夜」と刻まれていた

式「胸と肩と額に傷か・・・橙子の所に連れて行くか」

? 「うつ・・・」

ガバッ

? 「ここは・・・」

? 「気がついたか？」

少年の前に黒いズボンに白いワイシャツを着た赤い髪の女がいた

？「誰？」

橙子「私か？私は蒼崎橙子、魔術師だ」

これは・・・この少年の物語

少年はさまざまな者達に出会う

蒼い眼の殺人貴・・・剣製の魔術使い・・・

偉大なる「青」の魔法使い白い吸血鬼の王女に黒の月姫

これは始まりの物語

第一話（後書き）

小説閲覧ありがとうございました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5064i/>

空にかかる月と運命

2010年10月10日18時23分発行